

# Track 17.

## 落ち葉

今までどうにかこらえてきたのに 風が肌にしみ始めると  
自分でもいつかは分からないうちに 涙がほほを伝っている

あのころはどこまでも 飛んでいけると思ってた  
いつかは必ず 終わりがくるとも知らずに

はらりと落ち葉が舞い落ちる あの頃の思いを乗せたまま \*繰り返し  
何事も全てを包み込むような 透き通る空の青さに  
もう一度 浸りたい 今はただ

夏の日はいつまでも輝いて 二人の夢を育むはずだった  
蝉しぐれに覆われた 嵐のような静けさの中で

夕暮れはいつの頃からか 二人を追い立てて  
月明かりの影法師に 淡い記憶も消えていく

\*繰り返し

しばらく見なかった人たちも 笑い声は変わらないけど  
なぜか今はこの胸の中に うつろに響いているだけ

目に鮮やかに色づいた 木々もどこか憂いを含み  
これからの厳しい 季節の始まり告げている

\*繰り返し